

規 格

新規に制定、または改正発行されたISO、JISをご紹介します。

〈新規ISO〉

- ISO 18941 (2011) Imaging materials - Colour reflection prints - Test method for ozone gas fading stability
(イメージング材料 - 色反射印刷 - オゾン退色安定性の試験方法)

イメージング材料の耐オゾン性試験の規格が制定された。試験条件は、以下の通りである。

オゾン濃度：1ppm(オプションとして0.5ppm又は5ppm)

温度：23℃(オプションとして15℃又は40℃)

湿度：50%rh(オプションとして30%rh又は70%rh)

風速：0.3～0.6m/sec.

〈改正ISO〉

- ISO 9227 (2012) Corrosion tests in artificial atmospheres - Salt spray tests
(人工大気における腐食試験 - 塩水噴霧試験)

本規格は、塩水噴霧試験方法の基本的な規格として、世界各国で広範囲に利用されている。

今回の改正で、各試験方法(中性塩水噴霧、酢酸酸性塩水噴霧、キャス)の記述が整理された。

〈新規JIS〉

- JIS K 6411 (2012) 道路橋免震用ゴム支承に用いる積層ゴム - 試験方法

ISO 22762-1を基に制定された規格(MOD)で、熱老化特性試験はJIS K 6257の促進老化試験AA-2法を規定。また、耐オゾン性試験はJIS K 6259の静的オゾン劣化試験(オゾン濃度50pphm、試験片伸長率20%又は50%伸長、40℃、96時間)の他、日本国内の低温状態での耐オゾン性を確認するために、低温オゾン性試験(オゾン濃度50pphm、試験片伸長率50%伸長、-30℃、96時間)を規定。附属書JAに、低温時の劣化メカニズム及び低温オゾン性試験の必要性が示されている。

〈改正JIS〉

- JIS Z 8781-1 (2012) 測色 - 第1部：CIE測色標準観測者の等色関数

CIE 1931測色標準観測者の等色関数(2度視野)とCIE1964測色補助標準観測者の等色関数(10度視野)を規定。これによりJIS Z 8782:1999は廃止され、この規格に置き換えられた。ISO 11664-1:2007と一致(IDT)。

- JIS Z 8781-2 (2012) 測色 - 第2部：CIE測色用標準イルミナント

CIE(測色用)標準イルミナントA(一般照明用タングステンフィラメント電球による照明を代表)及びD65(平均昼光を代表)を規定。これによりJIS Z 8781:1999は廃止され、この規格に置き換えられた。ISO 11664-2:2007と一致(IDT)。

引き続き、JIS Z 8781-4 測色-第4部:CIE 1976 L*a*b*色空間、及びJIS Z 8781-5 測色-第5部:CIE 1976 L*u*v*色空間の改正審議が開始される。

編集部

本社・研究所 〒160-0022 東京都新宿区新宿5-4-14 ☎03-3354-5241 Fax 03-3354-5275
日高・川越工場 〒350-1213 埼玉県日高市高萩1973-1 ☎042-985-1661 Fax 042-989-6626
名古屋支店 〒465-0051 名古屋市中東区社が丘1-605 ☎052-701-8375 Fax 052-701-8513
大阪支店 〒564-0053 大阪府吹田市江の木町3-23 ☎06-6386-2691 Fax 06-6386-5156
広島支店 〒733-0033 広島市西区観音本町2-12-11 ☎082-296-1501 Fax 082-296-1503

スガ試験機株式会社
Suga Test Instruments Co., Ltd.
www.sugatest.co.jp